



International
Olympic
Committee



INTERNATIONAL
PARALYMPIC
COMMITTEE



TOKYO 2020



TOKYO 2020

PARALYMPIC GAMES

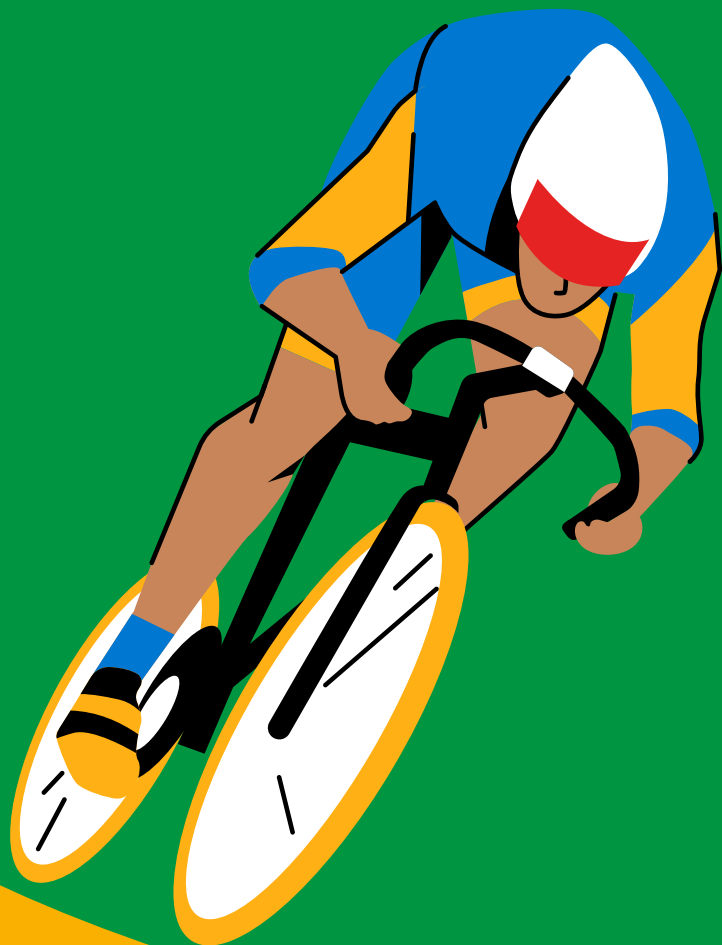


公式プレイブック アスリート チーム役員

大会の安全と成功の
ためのガイド



このプレイブックは 誰のためのもの？



Athletes アスリート	(Aa)
Alternate Athletes 交代選手	(AP)
Training Partners and Alternate Grooms トレーニングパートナーと交代厩務員	(P)
Team Officials チーム役員、関係者	(Ao, Ac & P)
Athlete Competition Partner for Paralympic Games 競技パートナー (パラリンピック向け)	(Ab)
Chief Team Physician for Paralympic Games 選手団チーフドクター (パラリンピック向け)	(Am)
Village Administration 選手村運営者	(NOC, NPC)
Athlete Chaperone アスリートシャペロン	(NOC, NPC)

目次

このプレイブックは誰のためのもの？	2
Stronger Together	4
原則・方針	5-8
渡航について	9
イントロダクション/はじめに	10
出発前	12-16
日本への入国	17-20
大会時	21-27
日本からの出国	28-29
お読みください	
ワクチン接種	31
コンプライアンスと制裁	32



STRONGER TOGETHER



予想よりも遥かに長い期間を経て東京2020大会の開催まで残り数ヶ月となりました。私たちは、この夏の大会を安全かつ成功させるための計画を練りながら、準備を進める中で様々な課題に直面してきました。私たちは、スポーツと大会の力ですべての人が団結し、アスリートたちが世界を再び奮い立たせる時を楽しみにしています。“**Stronger than ever, stronger together**”（より強く、共に強く。）

そのためには、私たち一人ひとりに大切な役割があります。調整委員会とNOCのアスリートワーキンググループの共同議長の視点から見ると、NOCとアスリートは最新の情報を受け取ることができ、さらに、アスリートの声を議論や決定の中心に据えてきました。私たちの最優先事項は大会に参加するすべての人の健康と安全です。

125年間、オリンピックは希望の光であり、人類連帯の象徴であり続けてきました。今、これまで以上に、我々の日常の行いが、他者の健康に多大な影響を与える可能性があります。そのため、このプレイブックは、各自が安全な大会の成功のために貢献できる規則を説明するために作成されました。

私たちは「権利と責務」のバランスの精神に基づき、NOC・NPC代表団ならびにアスリートはオリンピック・パラリンピック競技大会で安全な環境を享受する権利を有するとともに、それと同様に、日本の開催者やすべての大会参加者に対しても、正式なルールを遵守するだけでなく、尊重した行動をとる責務を負うと考えています。このプレイブックは、一人ひとりの役割とニーズに最も適したものになるように作成されています。これまでの大会に参加したことがある方は、今回の経験が様々な点で今までと異なることでしょう。すべての参加者について、皆様の柔軟性と理解が必要となる条件や措置があります。

もちろん、様々な疑問もあるでしょう。このプレイブックの第一版は、今後、計画が詳細化、状況が明確化していく中、全員の指針となる主要原則を提供することを目的としています。第二版は4月に発行される予定で、大会が近づくにつれてさらなる変更がなされます。皆様が必要とする情報をできるだけ早く入手できるようにしていきます。

私たちは**#StrongerTogether**です。私たちが共有する価値観 — 卓越性、友情、敬意 — は、安全な大会の成功へと私たちを導いてくれます。私たち一人ひとりが責任をもってプレイブックを遵守すれば、記憶に残る素晴らしい夏の大会となると確信しています。この集いは、人類の希望の象徴です。私たちが持つ最高のパフォーマンスを必要としています。

大会でお会いしましょう。

Kirsty Coventry,

Chair of the IOC Athletes' Commission and Member of the Coordination Commission for the Games of the XXXII Olympiad Tokyo 2020

Robin Mitchell,

Acting President of the Association of National Olympic Committees and Member of the Coordination Commission for the Games of the XXXII

原則・方針



最小限の 物理的な接触

新型コロナウイルスは咳、くしゃみ、会話、歓声、歌などにより発生する飛沫を介し、人と人との距離が近い場面で人から人に感染します。混雑した場所、換気の乏しい環境や新型コロナウイルス感染者と近い距離にいる場合、感染リスクが高まります。以上のことから物理的な接触を最小限に留め、マスクを着用し、三密（密閉、密集、密接）を避けることが重要です。

#1



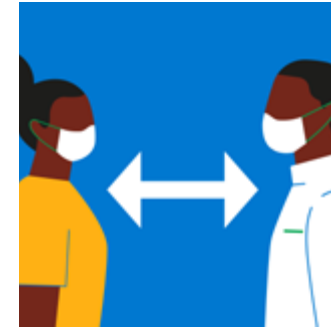
人との接触を最小限に抑えてください

#2



ハグや握手などの物理的な接触を避けてください

#3



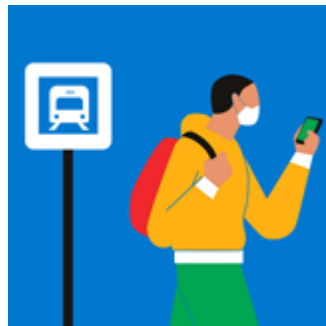
選手との距離は2メートルを確保してください。その他の人との距離は運営上のスペース内でも少なくとも1メートルを確保してください。

#4



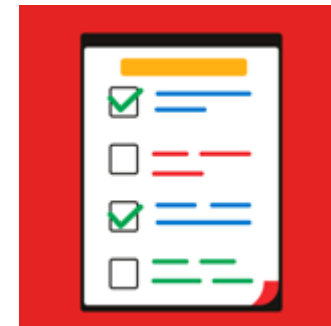
閉鎖された空間や混雑は出来る限り避けてください

#5



各自のプレイブックに沿って、大会専用車両を使用してください。特別な許可のない限り、公共交通機関の使用は認められません

#6

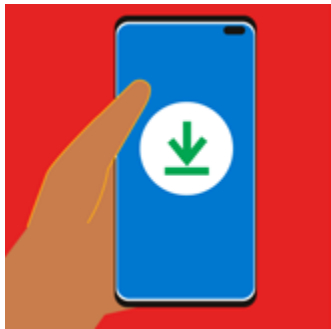


各自の活動計画書に沿った行動を確実にとってください

検査、行動管理、隔離

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、人から人への感染の連鎖を止めることが不可欠です。そのため、検査を通じ新型コロナウイルス感染者を特定、行動履歴から濃厚接触者を把握、適切な期間の隔離をし、ウイルスが広まらないよう努めることが重要です。

#1



COCOAと健康観察を行うアプリをダウンロードしてください

#2



大会に向け自国出国前に新型コロナウイルスの検査を受け、陰性結果証明書を準備してください。（出発地により）日本の空港到着時に再度検査が必要な場合があります

#3



各自のプレイブックに則り、日本入国後14日間、追加の制約に従ってください

#4



大会期間中、各自の役割により必要に応じて、新型コロナウイルスの検査を定期的に受けてください

#5



症状がある場合、または保健当局からの指示があった場合、検査を受け隔離してください

衛生管理

新型コロナウイルスは、感染者から出る飛沫を介して日常生活のさまざまな場所に生息します。手でそれらの物に触れてから、目、鼻、または口に触れると、感染するリスクがあります。そのため私たちは基礎的な衛生管理—定期的かつ徹底的に手を洗うこと、表面を消毒すること、顔を触らないようにすること、くしゃみや咳をするときに口を覆うこと—を忘れてはなりません。

#1



定期的に手を洗い、可能な場合は手指消毒剤を使用してください

#2



屋外で他者との距離を2メートル以上確保できる場合以外は、マスクを常時着用ください

#3



咳をする際はマスク、ティッシュ、袖などで口元を覆ってください

#4



歌ったり連呼したりせず、拍手することでアスリートを応援してください

#5



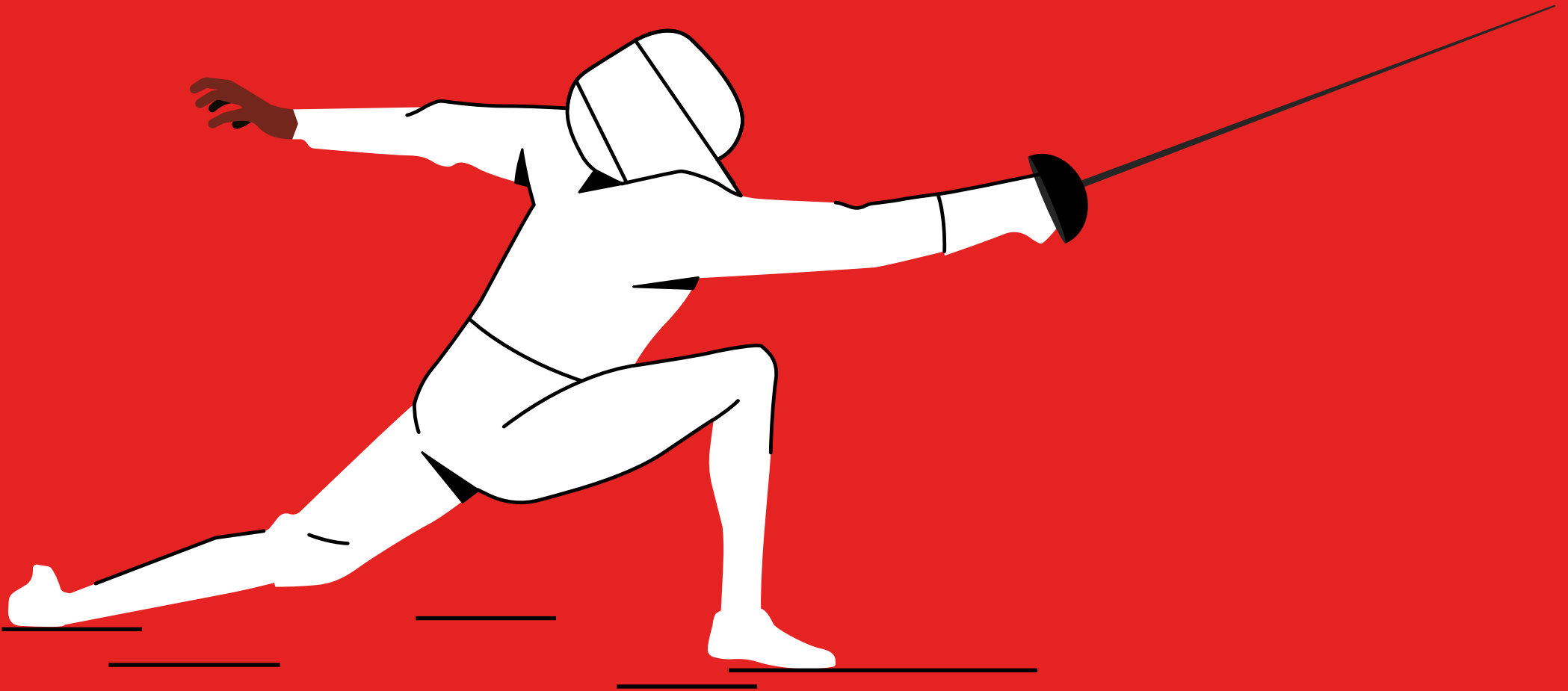
可能な限り共有物品の使用を避けるか、それらを消毒してください

#6



30分ごとに部屋と共用スペースを換気してください

渡航について



イントロダクション はじめに

プレイブックは、すべてのオリンピック・パラリンピック参加者と日本国民がこの夏、安全で健康な大会を実現するための大会計画の基礎となるものです。東京2020組織委員会、国際オリンピック委員会 (IOC)、国際パラリンピック委員会 (IPC) によって共同製作されました。このプレイブックは、世界保健機関 (WHO)、日本政府、東京都、世界中の専門家や専門組織からなる「オール・パートナー・タスクフォース」の取組みに基づいています。

このプレイブックは、選手とチーム役員の責任を定めたものですが、各国オリンピック委員会 (NOC) / 各国パラリンピック委員会 (NPC) からのより広範な情報と併せて検討する必要があります。このルールは、競技や居住地に関係なく、すべてのアスリートやチームの役員に同じように適用されます。

渡航の14日前から日本滞在期間中を通じた計画や段取り、従うべき規則を理解してください。大会に参加する際には、自分の役割に責任を持つことが重要です。アスリートとして、またチームの役員として、皆様が基準を作るのです。

すでに日本にお住まいの場合は、大会に向けてこの情報がどのように自分に適用されるか考えてみてください。

重要事項

すべての NOC/NPC はコロナ対策責任者の指名を求められます。この担当者は、新型コロナウイルスに関連するすべての事項についての重要な窓口となります。また、IOC/IPC、東京2020組織委員会、日本の保健当局との窓口にもなります。コロナ対策責任者は、このプレイブックを理解し、それに皆様が従うことを確実にする責任があり、その役割に関連した詳細なガイドラインを受け取ります。

このプレイブックは、必要に応じて更新され、最新の状況を反映します。次版は2021年4月までに発行される予定です。

注意

このプレイブックは、IOC、IPC、東京2020組織委員会の現在の理解のもとに書かれています。日本の状況や規制の変化を十分に考慮に入れることができるように、日本政府や東京都と協力して、将来的に特定の対策に更なる変更が加えられる可能性があります。プレイブックの更新版では、現在記載されている制限事項よりも多くの制限事項が含まれる可能性があります。

私たちは、ここに記載された対策が大会参加に伴うリスクや影響を軽減するものと信じており、これを遵守するために皆様からのご支援を期待しています。しかし、あらゆる配慮にもかかわらず、リスクや影響が完全に排除されるとは限らないため、オリンピック・パラリンピック競技大会への参加は自己責任で行うことに同意するものとします。



旅行中の原則

ALL THE TIME 常時

- ・ 他者との物理的接触を最小限にしてください
- ・ 選手との距離を2m、その他の人々との距離を1mあけてください
- ・ 可能な限り閉鎖されたスペースや混雑を避けてください
- ・ 皆様自身のプレイブックに従った移動手段を使用してください
許可がない限り、公共交通機関を使用しないでください
- ・ 手を定期的に洗う、マスクを着用するなど、良い衛生状態を保ってください
- ・ 滞在期間中、各自の役割に応じて一定の間隔でスクリーニングおよび新型コロナウイルスの検査を受ける準備をしてください
- ・ 日本での滞在中、常時マスクを使用できるよう準備をしてください

1 BEFORE YOU TRAVEL 出発前

- ・ 皆様の旅は日本への出発14日前に始まります
- ・ 関連するすべての書類（有効化前カードまたはビザと、新型コロナウイルス陰性結果証明書）が揃っていることを確認してください
- ・ 日本滞在の最初の14日間の活動計画の策定を完了してください
- ・ COCOAと健康観察アプリのダウンロード、インストール及び登録をしてください
日本渡航前の14日間の健康観察をしてください
- ・ 日本滞在期間中、皆様の濃厚接触者になりそうな人全員のリストを準備してください
- ・ 日本への出発前72時間以内に新型コロナウイルス検査を受け、陰性の場合のみ渡航してください

2 ENTERING JAPAN 日本への入国

- ・ 出入国在留管理庁・検疫に有効化前カード（PVC）、オリンピックID兼アクレディテーションカード（OIAC）、パラリンピックID兼アクレディテーションカード（PIAC）または査証と新型コロナウイルス陰性結果証明書を提示してください
- ・ 日本入国時に新型コロナウイルスの検査を受ける準備をしてください
- ・ 到着時、空港内では迅速に移動し、活動は最小限にしてください

3 AT THE GAMES 大会時

- ・ 滞在期間中、各自の役割に応じて一定の間隔でスクリーニングおよび新型コロナウイルスの検査を受ける準備をしてください
- ・ 症状がある場合、または保健当局からの指示があった場合、検査を受け隔離してください
- ・ 14日間の活動計画のみに従い行動してください
- ・ 歌ったり連呼をしたりせず、拍手することでアスリートを応援してください
- ・ 特定の規則が各自の役割、競技、一部の場所に適應される可能性があります

4 LEAVING JAPAN 日本からの出国

- ・ 行先の国や乗継ぎで通過する国における、最新の入国条件を把握してください
- ・ 必要に応じて、新型コロナウイルスの最終検査を受ける準備をしておくようにしてください

出発前

行程は空港から始まるわけではありません。これからは最新のプレイブックを読み込み、理解する時間を確保いただく必要があります。もしご質問があれば、オリンピック・パラリンピック競技大会前に、ご自身の国のNOC/NPCまたはコロナ対策責任者*に適宜問い合わせください。

出発の14日前からプレイブックの規則が適用されます。この期間中に正しい認識を持つことが重要となります。

*コロナ対策責任者の役割におけるより詳細なガイドラインについては、確定次第、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時まで提供される予定です



このプレイブックをよくお読みください

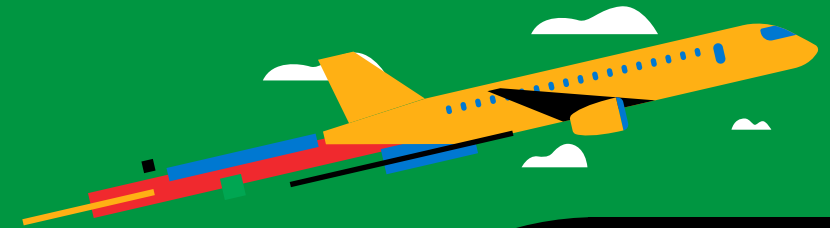
出発前に、このプレイブックを読み、理解し、規則へ同意していることを確認してください。32ページ「コンプライアンスと制裁」参照

日本滞在期間が補償対象となる、治療費や緊急帰国の費用を補償する保険に加入する必要があります

- 選手及びチーム役員に関しては、東京2020組織委員会が、選手村のプレオープンから選手村の閉村日までの期間についての保険を提供します。なお、保険は日本滞在中に発生する費用のみに適用となりますのでご注意ください

事前キャンプもしくは大会後のホストタウン交流プログラムに参加される場合

- 地域での対策についてはホストタウン受入れマニュアルをお読みください
- 出発1か月前までにNOC/NPCはこれらの対策への遵守を確認する必要があります
- 原則、活動範囲は宿泊場所と練習会場に限り、また、特別な許可がない場合は公共交通機関の利用はできません



検査、行動管理、隔離

- **有効化前カード (PVC)** (有効化されオリンピックID兼アクレディテーションカード、パラリンピックID兼アクレディテーションカードとなるものです。) を保有している事を確認してください。所持していない場合、日本入国のための査証が必要となる場合があります
 - **日本滞在の最初の14日間の活動計画書***を策定し、日本当局に共有する必要があります。その活動計画書には下記の事項を含めてください
 - 全活動計画
 - 用務先 (競技会場、宿泊先、「用務先リスト」に規定されている限られた場所) 21-27ページ「大会時」参照
 - 移動手段
 - 滞在場所
 - 有効化前カード (PVC) (有効化されオリンピックID兼アクレディテーションカード、パラリンピックID兼アクレディテーションカードとなるものです。) を保有している事を確認してください。所持していない場合、日本入国のための査証が必要となる場合があります
 - 航空会社や経由地、日本入国が必要とされる新型コロナウイルス検査と陰性結果証明書に関する**最新情報の確認**をしてください。[日本政府のリンク](#)を参考にしてください
 - 新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)、健康観察アプリの**ダウンロード、インストール及び登録**が必要です。別添「スマートフォンアプリ」参照
 - **日本入国前14日間の健康観察を行う必要があります**
 - 毎日の検温を行い記録してください
 - 自主的に毎日の健康状態の確認 (具体的には、体温確認と新型コロナウイルスの症状に該当しているのかどうかの確認等) をし、結果を健康観察アプリに入力してください。この情報は、個人情報保護に関する法令に沿って地域保健当局、東京2020組織委員会、コロナ対策責任者に共有されます (詳細は今後確定予定)
- * 活動計画のより詳細な情報 (ひな形を含む) については、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時までに提供される予定です

検査、行動管理、隔離

- **入国前14日間に症状がある場合**
 - 日本への渡航は中止してください
 - コロナ対策責任者へ報告し、対応方法について説明を受けてください。新型コロナウイルスの症状に関する[WHOのガイドライン](#)を参照ください。
- **日本政府公認の検査**を、現地出発前の72時間以内に受ける必要があります。(直行便に搭乗しない場合は、最初に搭乗する便の出発時刻が現地出発時刻となります。
 - 現時点で承認されている新型コロナウイルス検査の種類(唾液または鼻咽頭)は、RT-PCR検査、核酸増幅検査(LAMP)、抗原検査(CLEIA)です。
 - 証明書の信憑性を確認する措置も検討されています
- **新型コロナウイルス検査で陰性の場合**
 - 陰性結果証明書を取得してください
 - 日本の出入国在留管理庁に陰性結果証明書を提出できるよう準備ください
 - 健康観察アプリを通して陰性結果証明書の提出を求められる場合があります
- **新型コロナウイルス検査で陽性の場合**
 - 当該地の規則に従い、自己隔離を実施してください
 - コロナ対策責任者に報告してください。当該責任者より、該当者の症状、検査結果、濃厚接触を把握の上、東京2020組織委員会に報告され、その先の手段について合意がされます

ソーシャル

- 日本へ渡航する前の14日間は、**他人との物理的な接触を最小限にしてください。**
 - 日本滞在中の**濃厚接触疑い者リストを作成***してください。例としては、ルームメイト、コーチ、理学療法士、チームメイトが挙げられます
 - － 濃厚接触疑い者リストはコロナ対策責任者へ提出し、承認を得てください。コロナ対策責任者は必要に応じ接触者追跡の補助などに使用します
- * 濃厚接触者に関するより詳細な情報については、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時までに提供される予定です。

衛生管理

- 徹底した衛生管理を行ってください。（マスク着用、定期的な手洗いまたは手指消毒）
- 日本滞在中に**常時マスクがあるよう、各自の責任で確保してください**。すべての人にマスクを用意する責任があります
 - － マスク着用に関しては、**WHOの推奨事項**に従ってください
 - － **布製のマスクを使用する場合**、定期的に高温洗濯が可能で、少なくとも二重、理想的には三重のものを使用してください
 - － 内層には綿のような吸収力があるものを使用してください
 - － 中間層にはポリプロピレンのような不織布を使用してください
 - － 外層にはポリエステルを含んだ吸収力のないものを使用してください
- **メーカーの推奨事項や製品の衛生証明を確認してください**
- **注意**
 - － マスクは毎日一回は洗濯を行い、湿ったらすぐに取り換えてください。高温多湿な気候では通常より多くのマスクを必要とする場合があります
- マスクのブランディングに関するガイドラインについて確認してください

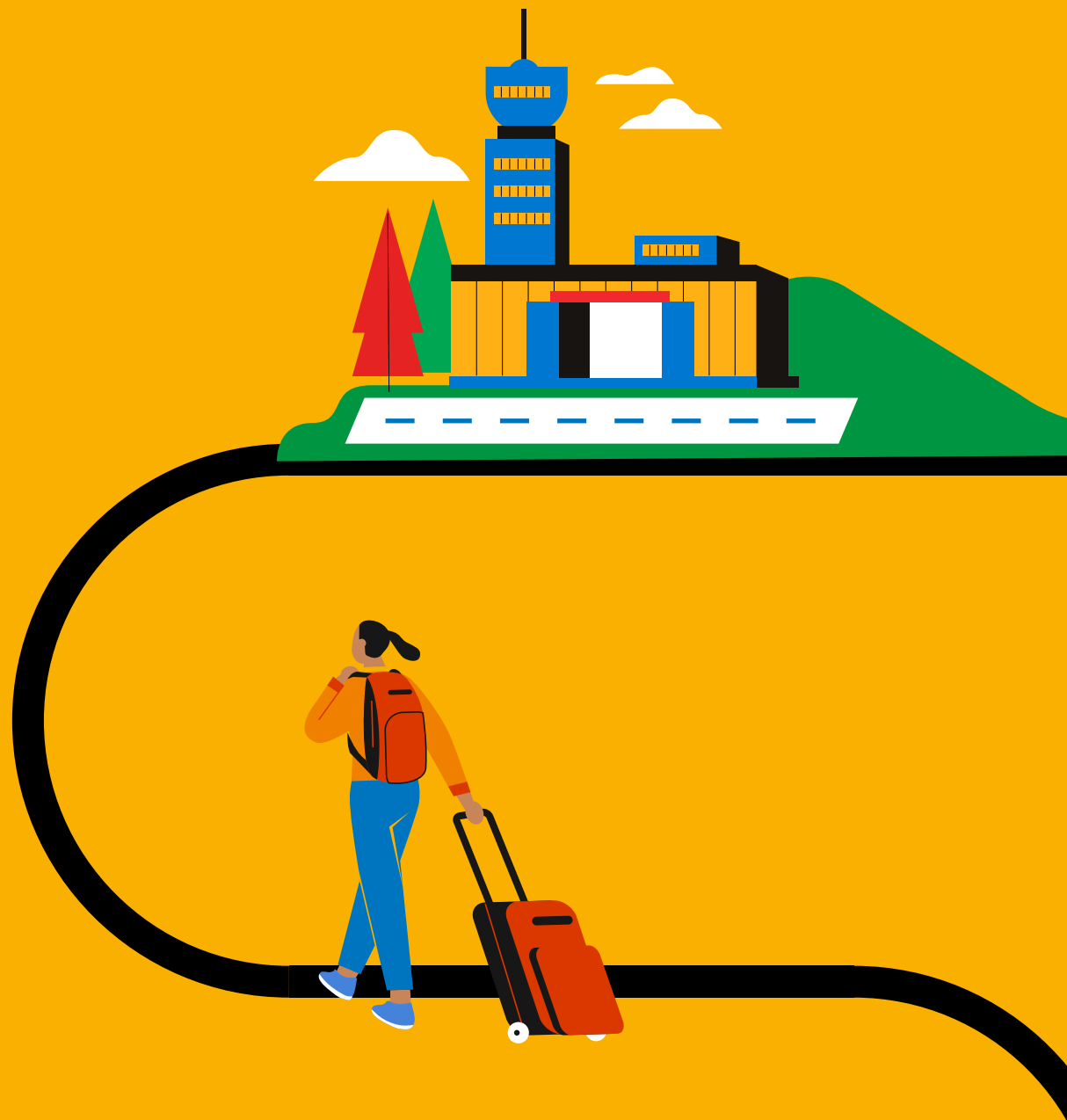
詳細は[WHOマスク着用に関するガイドライン](#)を参照ください

日本への 入国

日本へ到着した際、空港及びその先の移動において、以下の事項を順守しなければなりません。

日本での滞在期間中は、フィジカル・ディスタンスを保ち、適切な衛生対策を講じる必要があります。滞在開始日から最初の14日間は追加的な規則も適用されます。

日本への入国に必要なオリンピックID兼アクレディテーションカード又はパラリンピックID兼アクレディテーションカードへ有効化するため、有効化前カード（PVC）を準備してください。



検査、行動管理、隔離

- **出入国在留管理庁・検疫への提示の準備をしてください**
 - － パスポート、又はPVC/査証に紐づいた渡航証明書、及び有効化前カード（PVC）、オリンピックID兼アクレディテーションカード/パラリンピックID兼アクレディテーションカード又は査証
 - － 出発前72時間以内に受けた新型コロナウイルス検査の陰性結果証明
- **日本入国の際、新型コロナウイルス検査を受ける準備をしてください**
 - － 日本入国前の滞在国や過去14日間の滞在先により、空港で検査が行われる場合があります。該当しない場合は、選手村または事前キャンプ地で検査が行われます
 - － **事前キャンプに参加する場合は**、選手村へ到着する3日前に新型コロナウイルス検査を受ける必要があります。この検査については、ホストタウンが手配します
 - － **検査結果が陽性だと確認された場合**、日本の保健当局の指示のもと隔離*されます。その場合、政府指定の隔離施設での待機となる場合があります
- **新型コロナウイルスの症状があらわれた場合**
 - － 至急、コロナ対策責任者に連絡してください。必要に応じて、東京2020組織委員会、または事前キャンプのホストタウンと協議します
- * 隔離に関する詳細は、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時までには確定される予定です

ソーシャル

- **東京2020組織委員会とNOC/NPCの指示に従い、可能な限り迅速に空港を通過してください**
 - － アクレディテーション有効化カウンター(PVC所持者のみ対象)以外のお店やサービス施設へ立ち寄らないでください
 - － 他者との接触を最小限にするために、大会公式空港が提供する**大会専用レーン**を使用してください
- **大会専用車両のみを使用し、公共交通機関は使用しないでください。**他に手段がない場合は、特別の許可があれば飛行機と新幹線を利用して、事前キャンプへの行き来が可能です
 - － 着席位置を考慮し、他の乗客との間に空席を設ける等により、距離を保ってください
 - － 大会専用車両以外の独自手配車両を使う場合は、プレイブックのルールに従ってください
- 選手村での滞在については、**NOC/NPCの指示に従ってください。**「滞在期間」の方針に則して予定され、他団体との接触を最小限に抑えます

パラリンピックの 考慮事項

- 車いすやその他の移動支援機器は、特定の状況で他者（例：旅行時の航空会社職員など）に扱われることがあるので、除菌シート等で触れられる箇所を定期的に消毒してください。

大会時

日本滞在期間中を通じてフィジカル・ディスタンスを取り、衛生管理を徹底する事が皆様の安全と健康の維持に繋がります。到着14日後までは追加の措置が適用されます。

ご自身で責任をもって、毎日健康観察アプリを通して自身の健康観察を行い報告してください。

新型コロナウイルス検査は感染リスクを最小限に抑えるために極めて重要です：一般的スクリーニングや陽性者の濃厚接触者、また、コロナの症状が確認された人への診断にも使用されます。



検査、行動管理、隔離

- 毎日、積極的な健康観察を行い（例：検温、コロナ感染の兆候の有無）、健康観察アプリを介して**結果の報告**をしてください。別添「スマートフォンアプリ」を参照
 - **大会期間中、最低4日に1回の定期的な検査*が実施されます**
 - － 種目や大会のスケジュールに応じて、検査の日時や頻度は調整される場合があります
 - － 検査は選手村あるいは分村（又はパラリンピックトラックおよびロードサイクリング選手用宿泊施設）の専用施設内で実施されます
 - － 自己手配宿泊施設で滞在する者は、選手村にて検査の実施が必要となります
 - － 検査結果はタイムリーかつ効率的、さらに各自の健康状況も踏まえて処理されます
 - － 複雑なケースの結果の解釈についてのプロトコルは、検査結果に関する専門家諮問グループ（RAEG）によって作成されます。このグループは複雑なケースの解釈検討の際にも招請される可能性があります
 - **検査は東京2020組織委員会提供のウェブシステム*で予約が取れます**
 - **大会期間中に陽性結果が確認された場合**
 - － 直ちに隔離*を開始し、コロナ対策責任者に連絡をしてください
 - － 継続した隔離又は入院が求められます。大会には出場できません
 - － 隔離場所（政府が承認した隔離施設になる場合があります）及び隔離期間は日本の保健当局が症状に応じて決定します
 - － 隔離解除は日本の隔離解除に関するガイドラインに沿って決定されます
 - － **コロナ対策責任者**は陽性者の活動を調査し、最初に症状が現れた時または検査を受けて隔離を開始した日から二日前まで遡って濃厚接触者及び往訪した会場を調査します
 - － コロナ対策責任者は日本の保健当局及び東京2020組織委員会と協議し、特定箇所の消毒などさらなる対策を決定します
 - － **濃厚接触者と確認された者**は日本の保健当局と東京2020組織委員会より通知を受けて、その指示に従うこととなります
- * 検査に関する情報の詳細(タイミング、検査結果と場所の伝達方法)、ウェブ予約システムと隔離に関する詳細は、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時まで提供する予定です

検査、行動管理、隔離

- **大会期間中に陽性者の濃厚接触者となった場合**
 - COCOAによる通知、コロナ対策責任者により検査の要請がされます
 - コロナ対策責任者よりその後の措置について指示を受けてください
 - 通知を受けたら、速やかに検査を受けてください
 - 検査は選手村の指定場所にて実施されます
 - 検査結果が出るまで指定場所にて待機してください。現在東京2020組織委員会は、陰性結果が出た際には予定通りに競技に出場できるよう、保健当局と調整を行っています
 - **滞在期間中に新型コロナウイルスの症状が出た場合は、直ちに**
コロナ対策責任者に連絡をし、その後の措置について指示を受けてください。[WHOの症状に関するガイダンスを参照](#)
 - 大会会場では会場の医務室で診察を受けてもらいます
 - 新型コロナウイルスに感染している可能性が高い場合、選手村の発熱外来（又は他の指定医療施設）へ搬送され新型コロナウイルス検査が必要となります
 - 検査結果が出るまで発熱外来にて待機してください
 - **会場に入る際には、毎回検温チェックを受ける準備をしてください***
 - 37.5度以上の体温があった場合、確認のために再度の検温が実施されます
 - 二度目の検温でも37.5度を超えた場合は会場への立ち入りができません。コロナ対策責任者に連絡し、その指示に従ってください。隔離場所にて、次の措置まで待機となります
- * 会場での検温の詳細は、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時までに提供される予定です。

ソーシャル

- 他者との接触をできる限り避けてください
- 他者と2メートルの距離を保つようにしてください
 - － 運営上の都合により、競技場（FOP）と準備エリアなどで他者との距離が2メートル未満となる場合には、東京2020組織委員会、IOC/IPC、IFは必要な対策を検討し、実施します。*
- 常に濃厚接触疑い者リストを最新にしてください
- 大会専用車両のみを利用してください。許可のない限り公共交通機関は使用しないでください
 - － 地方会場までの移動で、他に手段がない場合には、特別の許可があれば飛行機、新幹線の使用が可能です
 - － 着席位置を考慮し、他の乗客との間に空席を設ける等により、距離を保ってください
 - － 大会専用車両以外の独自手配車両を使う場合は、プレイブックに記載のルールに従ってください
- 14日間の行動計画にある用務以外、選手村（その他定められた宿泊所）から外出しないでください
- 大会公式競技会場と「用務先リスト*」に記載されている指定場所のみ行くことができます。これら指定場所にはメディアロケーションとハイパフォーマンストレーニングセンターも含まれます
 - － ジム、観光地、店、レストランやバーなどを訪問することはできません
- 選手村に滞在している場合は選手村又は競技会場で食事をとってください。選手村以外で滞在している場合は競技会場と滞在先で食事をとってください

* 競技/会場/役割別の対策及び「用務先リスト」については、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時までに提供される予定です。

ソーシャル

- **食事の際は他者との接触を最小限に抑えるため、2mまたは指定の距離を保ち、なるべく同じグループで食事をしてください**
- **可能な限り人ごみや密閉された場所を避けてください**
 - フィジカル・ディスタンスを確保することができない場所に、不必要に長時間滞在することは避けてください。エレベーターなどの人が密集する空間での会話は控えてください
- **ハグ、ハイタッチ、握手など物理的な接触は避けてください**
- **アンチドーピングは国際基準や安全衛生措置、WADAのガイドラインに沿ってオリンピックについては国際検査機関、パラリンピックについてはIPCの下で実施されます**
- **競技や役割、また場所によっては追加的な規則が適用される可能性があります***。これらは東京2020組織委員会、IOC/IPCとIFによって策定されます
- **開会式、閉会式には、追加的な規則が適用されます***。これは東京2020組織委員会とIOC/IPCにより策定されます

* 競技/役割/場所ごとや、式典の追加的な規則については、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時までに提供される予定です。

衛生管理

- 日本滞在中は**感染対策を徹底**し、会場や宿泊場所など各所での衛生基準や規則を遵守してください
 - － 競技/役割ごとや、競技エリアや準備エリア等の特定の場所に依じて、具体的な規則が適用される場合があります。これは東京2020組織委員会、IOC/IPC及びIFによって策定されます
- 練習時、競技中、食事中、就寝時、または屋外で他者との距離を2メートル以上確保できる場合以外は、**マスクを常時着用**ください。[WHOのマスク着用規定を参照](#)
 - － マスクを着用する前に手指の消毒をして、目、鼻、口になるべく触れないようにしてください。可能な限り、石鹸と温水を使用し、30秒以上手洗いを行ってください。または手指消毒剤を使用してください
 - － マスクが湿ってきた場合は新しいマスクに交換し、また、毎日洗濯してください
 - － フェイスシールドはマスクの代替として認められません。フェイスシールドは目の周囲を保護するために使用されるもの、あるいはマスクが着用できない状況にいる場合に使用されるものです
- **咳をする際はマスク、ティッシュ、袖などで口元を覆い**ましょう。使用済みのティッシュ、使い捨てマスク、マスクフィルターはゴミ箱に捨ててください
- **手洗いは石鹸と温水を使用し30秒間以上、定期的かつ徹底的に実施**してください。または、手指消毒剤を使用してください
- **大声を出したり、歓声を上げたり、歌うことは避け**ましょう。拍手などの飛沫が飛ばない方法で選手の応援をお願いします
- 換気が可能な部屋では、少なくとも30分に1回、数分間**空気の入れ替え**をしてください
- **物品の共有は避け**、他者が使用したものは必ず消毒してから使用してください
- 食後は、使用した**テーブルの消毒**をしてください
- 上記の規則を表彰式にどのように適用するかは検討の段階にあります

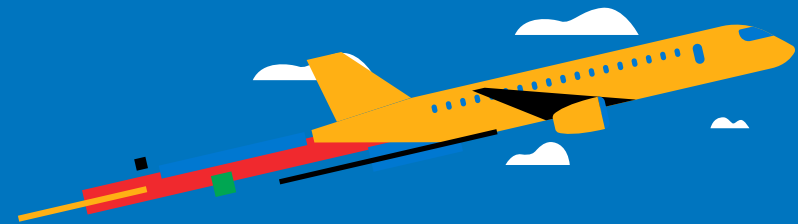
パラリンピックの 考慮事項

- 近距離で他者からの介助が必要な人々に対して、2メートルの距離の確保は強制されません
 - 支援を行う際は、常にマスクを着用してください
 - 支援をした後は、手指の消毒をし、最低2メートルの距離を確保しましょう
 - 可能な限り物理的な接触は最小限に抑えるよう心掛けてください
- 読唇や明瞭な発音、または顔の表情でコミュニケーションをする人と会話をする、あるいは介助する場合は、マスクを一時的に外すことができます。その場合は最低2メートルの距離を保ち、終了後は可能な限り速やかにマスクを着用してください
- 車いすやその他の移動支援機器は、特定の状況で他者（例：運転手など）に扱われることがあるので、除菌シート等で触れられる箇所を定期的に消毒してください
- 食事前の手洗いや手指消毒は重要であり、必要に応じて支援を行う必要があります

日本からの 出国

感染のリスクを減らし、安全で成功裡の大会を保証するために、日本での滞在期間は最小限に抑えられています。

出発から目的地に到着するまで、衛生面やフィジカル・ディスタンスに関する規則を含め、引き続きプレイブックに従ってください。

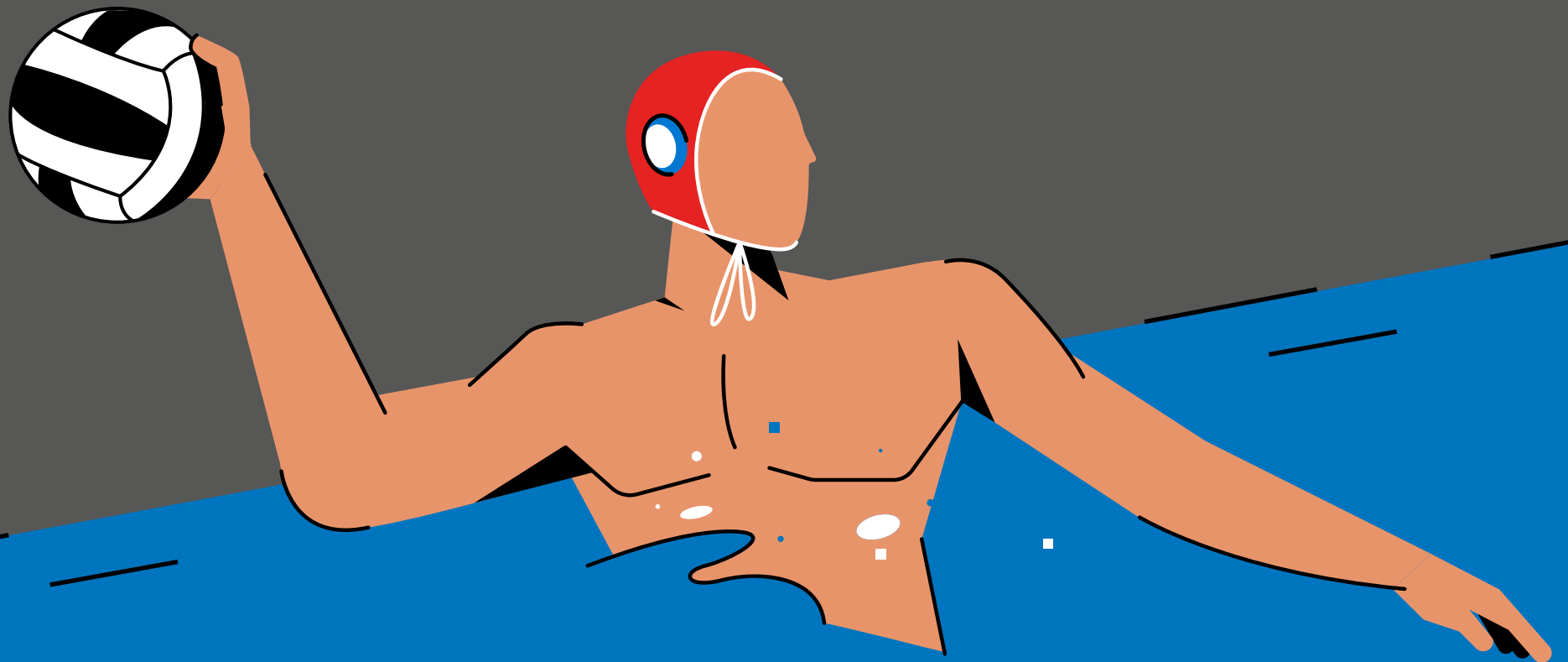


検査、行動管理、隔離

- 選手村からの出発は、**NOC/NPCの指示に従ってください。**
選手村滞在期間に関する方針に沿って、自分の競技の参加終了後48時間以内に退村しなければなりません
- **大会後のホストタウン交流プログラムに参加する場合は、**
関係当局の指示に従ってください
- 出国先、および経由する国の**最新の入国条件を確認**してください
- 出国前に**最後の新型コロナウイルス検査***を受ける準備をしてください。海外への渡航のため必要となる場合があります
- **空港への移動は、大会専用車両を使用します**
- 目的地に到着後は、**当該地の新型コロナウイルス関連規則に従ってください**

*出国前の検査に関する詳細は確定次第、遅くとも2021年4月のプレイブック更新時まで提供される予定です。

お読み
ください



ワクチン接種

ワクチン接種は感染対策に対して利用可能な1つの手段で、適切なタイミングと方法で行われます。IOCは、高齢者や医療従事者等への優先的なワクチン接種を強く支持しています。

より多くの人々へワクチンが供給可能な環境となれば、IOCはオリンピックチームとパラリンピックチームにワクチン接種を呼びかけます。近年国連総会で採択された国連決議で宣言されたように、「スポーツには個人とコミュニティの健康を促進する役割がある」という認識の元、各国のNOCとNPCはそのアンバサダーとしての役割を担います。この国連決議ではオリンピックとパラリンピックの重要性が再認識されました。

したがってIOCは各国NOCと連携し、アスリート、役員、およびステークホルダーが日本入国前に自国のワクチン接種ガイドラインに従って自国でワクチン接種を受けることを推奨および支援します。これは大会の安全な環境に寄与するだけでなく、日本の人々への敬意の気持ちから行われるものと考えています。日本の皆さんには、大会参加者だけでなく日本人自身をも保護するためにあらゆる措置が施されていると確信をもってもらうべきと考えているからです。

IOCは既に多くの国の政府がこの点に関して前向きな決定を下している、または各国NOCと協議中である事を把握しています。IOCは206か国のNOCのワクチン接種状況を把握するため、各国NOCに対してこの問題について政府と積極的に連携し、2021年2月初旬には状況を報告するよう求めています。NPCも同様です。

注意

大会参加に際しワクチン接種は義務ではありません。ワクチンを接種したか否かに関わらず、本プレイブックに記載されているすべての規則が適用されます。

コンプライアンスと制裁

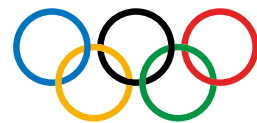
細心の注意や配慮がなされますが、感染のリスクやそれに伴う影響は完全には排除できないこと、オリンピック・パラリンピックへの参加は自己責任の上であること、を同意していただくようお願いします。ここに記載されている措置がリスクを軽減するものとして適切であると確信しており、皆様のご協力とルールへの遵守を期待しています。

オリンピックおよびパラリンピックのアクレディテーションのプロセスにおいて、これらの措置に関する情報は、所属する組織から通知されます。特にプレイブックのルールを遵守することが、アクレディテーションの付与・維持の為の条件であり、またこれらの措置には健康関連情報を含む個人情報の扱いが含まれる場合があります。

このプレイブックの内容（これ以降の更新内容を含む）を注意深く読んで理解し、記載された規則、および、日本当局、IOC/IPC、自らの所属する組織によって発行される追加事項を遵守するよう願います。コンプライアンス遵守が、全ての大会参加者の健康を守り、大会を安全に開催するという共通目的を達成するための鍵となります。

プレイブックに記載された規則が守られない場合、オリンピックおよびパラリンピックへの参加、競技会場への入場、または競技への参加に影響を及ぼす可能性があります。また、非遵守の繰り返しや重大な違反があった場合、アクレディテーションの剥奪、オリンピック・パラリンピックへの参加の権利が失われる可能性があります。

プレイブックに記載されている措置の中には、日本当局が権限を持つ出入国に関わる内容も含まれていることも留意願います。これらの措置に違反した場合、14日間の隔離や、日本滞在許可の取消し措置の対象となりえます。



International
Olympic
Committee



**INTERNATIONAL
PARALYMPIC
COMMITTEE**



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES



The Playbook has been developed jointly by the Tokyo Organising Committee for the Olympic and Paralympic Games 2020, the International Olympic Committee and the International Paralympic Committee.
All trademarks are the property of their respective owners.

© 2021 – International Olympic Committee – All Rights Reserved.